活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員

井上重久（しげひさ） だより

No.79

令和８年１月　発行責任者　井上　重久　編集責任者　永石　正司　長崎市水の浦町1-1　TEL095-861-6032

気運醸成を図る！

Ｊ１昇格の気運醸成を図った！（11月25日 本会議終了後）

新年明けましておめでとうございます。表紙の写真は11月25日本会議終了後、V・ファーレン長崎のJ1昇格を願い気運醸成を図ろうと、オール長崎のプロジェクトに賛同し、市議会議員と理事者全員でV・ファーレン長崎の応援Tシャツを着用し気勢をあげた。

11月29日V・ファーレン長崎は徳島と1対1で引き分け、2位で8年振りのJ1昇格を決め、パブリックビューイングやテレビなどで熱戦を見守った、多くのサポーター・市民らは歓喜に沸いた。J1昇格おめでとう！今後のご活躍を期待する！

一般質問（要旨）

質問：重点プロジェクトの進捗状況は？

回答：重点P／Jは人口減少対策を目的に、令和6年度から令和8年度まで「経済再生」「少子化対策」「新市役所創造」を集中的に取り組んでいる。

経済再生は、第5次総合計画における目標である企業立地件数17件、企業誘致に伴う新規雇用者数1，791人に対し、令和6年度までの実績は22件、993人となっている。引き続き、基幹産業の発展や成長産業の集積を見据えた、企業誘致に取組み、人材確保に向けて力を入れる。

少子化対策は、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略において「婚姻数」や「出生数」を目標に掲げ、出会いの場の創出や相談などの新たな取組みを行っている。また、第二子以降の保育料無償化で1，933人、小中学校給食費の物価高騰分の公費負担で約25，500人に支援を行い、子育て家庭の経済的負担を軽減した。

新市役所創造では、市役所を担う人づくりの視点から、人材獲得などの取組みを進めている。時代にあった市役所経営の視点から、公金支払方法のキャッシュレス化の推進など図っている。行政手続きの

活動の備忘録（10月～12月）

長崎市戦没者追悼式
（11月1日　平和会館ホール）

市指定無形民俗文化財竹ン芸
（10月15日　若宮稲荷神社）

長崎くんち榎津町川船
（10月7日　庭先回り）

ながさき自治振興推進大会
（12月6日　市民会館文化ホール）

ながさきエコライフ・フェスタ2025
（11月23日　長崎水辺の森公園）

福田中学校津波避難訓練
（11月4日　福田天満宮）

総務委員会報告要旨（12月4日～12月8日）

◆基金積立金……28億6，915万1千円

九州新幹線西九州ルート農業用渇水対策施設の維持管理に要する経費として、㈱鉄道建設・運輸施設整備支援機構九州新幹線建設局から補償金が支払われるため、当該補償金を積み立てるもの。

◆国・県支出金等返還金……14億1，026万円

過年度事業の確定等に伴う国・県支出金返還金。

◆一般会計債務負担行為

指定管理者制度による管理運営に係るもの。

設定期間：令和8年度～令和12年度（5年間）

事業名	補正額
南部市民センター指定管理	6，970万5千円
日見地区ふれあいセンター指定管理	4，857万5千円
茂木地区ふれあいセンター指定管理	4，779万円
野母崎樺島地区ふれあいセンター指定管理	4，675万5千円
出津地区ふれあいセンター指定管理	4，586万1千円

南部市民センター

編集後記

▼長崎市議会の議員定数は、平成23年改選時より人口1万1000人に対し議員1人との考えのもと40名と設定されている。当時約44万人であった長崎市の人口は、令和7年8月現在で約38万人と減少し、令和17年には約34・2万人と予測されている。このような中、地域特性や削減数、チェック機能の低下などの影響を考慮しつつ、現在の人口約1万人に対し議員1人という割合を用い、現行40人の議員定数を令和9年の改選時から36人へ削減する条例改正を、賛成多数で可決した。

2026年干支の置物「午（馬）」

この干支の置物は「午（馬）」は、雲仙市小浜町の「よろこびの里」の皆さんが制作した作品です。干支の午（馬）の特徴は、陽気で派手好き、人との付き合いが古い動物で、人の役に立ち人間も馬も大事に扱っています。短所は、反抗的・落ち着きがないと言われていますが、陽気で華やかな長所を活かして元気で明るい一年となることを祈念いたします。

ご相談はお気軽に！

長崎市議会議員

井上重久（しげひさ）

自　宅　長崎市大浜町408
☎090-4483-0892
生　活　長崎市水の浦町1-1
相談室　☎070-4488-3038
http://inoueshigehisa.net/

井上重久ホームページはこちらから

オンライン化の現在の達成率は、目標の50件中39件の78％に達している。次年度に向けて、昨年度策定した「人事戦略」や「第2期行政経営プラン」などの取り組みを着実に進める。

市政を質す！（12月1日 本会議）

質問：平和公園スポーツ施設の再配置における、ソフトボール場の検討状況は？

回答：長崎県が進めている長崎南北幹線道路は、令和7年6月に国から事業認可を得て、令和18年度完成を目指し、現在、用地取得に向けた取り組みが進められており、スポーツ施設の再配置は利用者の方が各スポーツ施設を継続して利用できるよう進めて行く。

中部下水処理場跡の建物解体完了後（令和9年度予定）、令和10年度以降に400mの陸上練習トラックを中部下水処理場跡に確保、令和12年度以降、現在の陸上競技場の場所にプール整備が予定されている。

市営ソフトボール場は、柿泊町の長崎市総合運動公園の運動広場に移すことが必要となる。ソフトボール場移転後に弓道場等の場所を移すことになるため、ソフトボール場移転のための設計を早期に行う。移転後のソフトボール場の機能や規模等は、現地立会を行い、現在、照明設備や観客席などの機能について協議調整を進めている。

質問：地域における関係団体と連携した（防災組織の結成・防災マップ）地域防災力の向上について、今後の取り組みの方向性は？

回答：自主防災組織の結成促進は、令和7年11月末現在、結成組織数は630組織であり、活動カバー率は72％となっている。地域防災マップの作成状況は、令和7年4月1日現在968ある自治会のうち、本年11月末時点で590の自治会において作成されている。今後の取組みは、連合自治会や地域コミュニティ連絡協議会単位での結成・作成を提案するなど、働きかけに努めていく。

福田中学校防災訓練

質問：長期外航勤務に従事する船員の個人住民税の減免の見解は？

回答：船員に対する個人住民税の減免は、令和7年度から減免を実施した1自治体を加え、現在、全国8つの自治体の条例に基づき、年間を通じて6カ月を超える勤務に従事する船員等を対象に、個人住民税均等割額の2分の1を減免している。仮に長崎市の均等割額を2分の1減免した場合、市・県民税合わせて1人あたり2，300円が減免額となる。

令和6年度中の7自治体への減免申請実績は、0件が2市町、1件ないし2件が3市、15件が1市、21件が1市となっている。個人住人税の減免の考え方は、納税者が生活に困窮している場合や、公益上減免の必要がある場合などに限られており、減免が必要である場合は税負担の公平性の観点から、減免を行うことが相当であると認められる程度の強い公益性公益性が求められている。

現時点では長期外航勤務に従事する船員等の減免措置は、難しい状況にあるが、今後とも国の動向や他の自治体の状況等を注視しながら、引き続き検討していく。

長崎港内 旭町崖壁

質問：学校施設のプールの統廃合や利活用の検討状況は？

回答：長崎市の学校施設は、その半数以上が築40年以上経過しており、全体的な老朽化が著しい状況にある。プールの解体計画は、検討を行ったが、その解体費用は1箇所あたり概算で2，500万円から3，000万円となっている。現在、プールを使用していない学校35校の合計では8億7，500万円から10億5，000万円程度が必要である。一方で、プール単独の解体は、国庫補助の対象外となるため、全額一般財源で対応せざるを得ない。

プールの解体等は、将来的な水泳授業の実施方法、民間施設の活用可能性等を総合的に勘案し、慎重に検討していく必要があり、具体的な解体計画の策定に至っていないのが現状である。今後、中長期的な計画に基づき進めている学校の改修等に、プールの解体を盛り込むなどの手法を検討するとともに、統廃合計画の進捗や消防水利としての活用も視野に入れながら、施設ごとの方向性について個別に検討を行って行く。

令和７年第５回定例会(11月議会)開催！

一般会計補正予算49億4,345万4千円、61の議案を可決・同意！

長崎市議会令和7年第5回定例会(11月議会)は、11月25日に開会し12月12日までの18日間の日程で開催された。補正予算(第4号)は、施策の推進に係るもの5億4，937万9千円、基金積立金に係るもの28億6，915万1千円、その他14億1，168万3千円、12月12日に上程された人事院勧告に基づき国家公務員の給与に関する法律が改正されたことに伴う、補正予算（第5号）給与改定に係るもの1億1，324万1千円など一般会計補正予算総額49億4，345万4千円。国民健康保険事業2億4，989万2千円、中央卸売市場事業194万4千円、介護保険事業8億3，044万1千円など、特別会計補正予算に11億2，433万1千円を可決した。

条例改正は、森林火災の予防の実効性を高める林野火災に関する注意が設けられる長崎市火入れに関する条例の一部改正など。公の施設の指定管理者の指定について（長崎市茂木地区ふれあいセンター等8地区）、工事の請負契約の締結について（琴海中学校改築管工事等）、（仮称）長崎市南部学校給食センター整備運営事業に係る契約の一部変更など。決算14件、条例10件、予算13件、その他17件、報告5件、議員提出議案2件（議員定数、付帯決議）を可決・同意した。

併せて、長崎みなとメディカルセンターにおいて許可病床数等を変更することに伴う地方独立行政法人長崎市立病院機構第4期中期計画の変更の認可について、センターの経費節減、経営安定化、構造改革の執行状況など、今後、定例会ごと議会に報告するよう求め、付帯決議を採択した。

主な補正予算

◆妊婦支援給付事業費給付金
…3，665万円

妊婦のための支援給付において、流産等であっても胎児心拍が確認されていれば給付の対象となったことにより、給付金に不足が生じる見込みであるため、不足額を補正するもの。

◆認可外保育施設第2子以降保育料無償化給付費
…975万4千円

認可外保育施設を利用する世帯を対象とした第2子以降保育料無償化給付費について、過年度分の請求に要する経費等に不足が生じる見込みのため、不足額を補正するもの。

◆稲佐山公園整備費
…700万円

令和8年4月1日から稲佐山公園展望台駐車場の使用料を改定することに伴い、9月議会において駐車場カーゲート更新に係る費用について可決されたが、9月議会時の機器の仕様から変更する必要があるため補正するもの。

◆高齢者等帯状疱疹予防接種費
…2，579万1千円

接種者数が当初の見込みを上回ることにより、予防接種に係る委託料等を増額するもの。

◆障害者自立支援給付費

サービスの利用が当初の見込みを上回ったことなどにより、不足する給付費を増額するもの。

・介護給付金
…6，078万4千円

・訓練等給付金
…3億7，160万7千円

ながさきピース文化祭2025
9月14日(日)～11月30日(日)

「文化をみんなに」をキャッチフレーズに、78日間開催された文化祭、実行委員会及び県主催事業など37事業で合計79，510人(来場者速報値)が来場し閉会した。

市民参加舞台「或る長崎の灯り～三つの小作品～」
（11月8日(土)～9日(日) ベネックス長崎ブリックホール）

第73回長崎市民音楽祭
（10月19日 ベネックス長崎ブリックホール）